

ぐるめ散歩

バル

スペシャル

Spicarbo

各国の樽生クラフトビールと備長炭を使ったグリル料理、小皿料理が楽しめるバル。

人気メニューのひとつが羊肉のハンバーガー。つなぎを一切使わずにしっかり練った羊の粗挽き肉150gのパテを備長炭で時間をかけて焼き、厚切りのトマトとレタスとともに市内のパン屋に特注したバンズで挟む。炭の香りで羊特有の臭みが消え、肉のうまみが味わえると子どもにも人気だ。

小林武蔵店長(33)が主に調理を担当し、炭火



小林さん

☎5497-1677 中和泉
1-2-10、営業=午後5時(土・日・祝日は正午)~12時、月曜休み、夏期休暇=13日(火)~15日(木)



各国の樽生ビールが手軽に楽しめる 炭火を使ったグリル料理や小皿料理



で焼いたスペアリブなどのグリル料理と小皿料理が中心で、季節に応じてメニューを変える。また、エスニックなスープカレーや、ビールにも合う硬めの手作りプリンなどのデザート、平日午後5時から7時まではッピーアワーとしてクラフトビールなどのドリンク1杯に日替わりの前菜3種が付くサービスが好評だ。

国内外の樽生ビール8種

のほか、瓶や缶の様々な銘柄を揃えており、珍しい輸入ビールも提供している。管理にもこだわり樽生ビールを適温に保つ特注の冷蔵庫を備える。

同店は「クラフトビールと料理を手頃な値段で味わえ、女性1人でも入れる店」を目指し平成25年にオープン。カジュアルな雰囲気の内はカウンター12席と2人掛けテーブル3卓があり、休日は家族連れも多い。小林店長は「アルコールが苦手でも、食事が楽しめるので気軽に立ち寄ってください」と話している。

おすすめMENU

- ①ひつじの炭焼きバーガー ¥1,100 / ②前菜3種の盛り合わせ ¥900 / ③ひつじ串 ¥500 / サンバルチキンのスープカレー ¥900 / かためのぶり ¥500 / 自身魚のエスカベツシュ ¥700 / ひつじの薫製カルパッチョ ¥1,000 / 鶏からあげとさつまいもチップス ¥900 (税込み)

狛江古代カップ 多摩川いかだレース 猛暑の川で熱い戦い



多摩川で熱い戦いを繰り広げる手作りいかだ。手前は優勝したハートフルおやじファミリー号

「狛江古代カップ第32回多摩川いかだレース」(同実行委員会主催)が7月21日(日)に催され、83チームの手作りいかだがスピードやデザインを競った。

いかだは12レースに分かれ、五本松付近から二ヶ領宿河原堰付近まで約1.4kmを下った。今年はさらに安全性を高めるため、スタート地点を上流側へ約90m移動した。見物の人たちは猛暑にめげず川を下るいかだに木陰から声援を送っていた。

ゴール地点では水鉄砲バトル、アユのつかみ取り、お楽しみラリー&宝さがし、子どもお楽しみひろば、コンサートなど様々なイベントが催され、子ども連れなどが楽しんでいた。

レースは81チームがゴールした。結果は、企画部門で南生田中学校美術部&南生田パピロール隊コラボチームが4大会連続で5回目の最優秀企画賞を獲得、タイムレース部門ではハートフルおやじファミリー号が2位のチームいかだタコだ!!に1分8秒の差をつけ、昨年を53秒上回る9分28秒で優勝した。学生の部は狛江二中∞インフィニティ、レディース・ジュニアの部は狛江六小ファイターズBが優勝した。市内の小・中学校の対抗レースは狛江二中電光石火が優勝した。

9連覇を果たしたハートフルお

た。来年に向けてメンバーの体力維持を図り、10連覇をめざします」と話していた。

22日夜に灯ろうまつり開催 数百基が多摩川河川敷に彩る

多摩川灯ろうまつり(多摩川灯ろうまつり実行委員会主催、狛江市観光協会後援)が22日(日)午後6時30分から多摩水道橋下流の多摩川で催される。世界平和と環境保全を願って毎年催されているもので、河川敷を灯ろう数百基が彩る。灯ろうは1基1,000円で、申し込みを21日(土)まで市内6カ所の寺院と泉の森会館で受け付けるほか、会場でも当日午後4時から6時まで受け付ける。雨天の場合は23日(月)に順延。

問い合わせ ☎3489-8440 圓住院内多摩川灯ろうまつり実行委員会事務局。

狛江の初夏の味に人気 えだまめ祭りに行列

狛江の初夏の特産品枝豆を販売



特産の枝豆を販売

まち

やじファミリー号のメンバーは「川の水量が多くて目標タイムを達成できまし

するえだまめ祭り(狛江市都市農政推進協議会主催)が狛江市役所市民ひろばで7月1日(日)と3日(火)に開かれた。新鮮な枝豆が通常より安く買えるため、例年人気が高く、開始前から販売テントの前に行列ができ、両日とも用意した約600袋の枝豆は30分ほどで売り切れた。市内産のタマネギやジャガイモ、トマトに加え枝豆アイスも販売、人気を集めた。

今年は生産者の作業軽減のため、初めて開催日の間隔を1日空けたが、主催者は「実が膨らんで品質が上がったので良かった」と話していた。

和泉多摩川商店街で七夕 活性化の願いを込め復活

和泉多摩川商店街振興組合が、7月1日(日)~15日(金)に夏のイベント「イズタマアマガワ★一八〇商店街七夕飾り★」を催した。

6日(土)と7日(日)には商店街内にある稻荷神社境内で、子どもたちがプラスチック製の折り紙で作った七夕飾りや願い事を書いた短冊を笹に飾ったり、街路灯のライトに絵や願いを描いた透明ボードをはめ込むワークショップを開催、両日合わせて約50人が参加した。子どもたちは自分の作品を満足そうに眺めたり、記念撮影をして喜んでいた。

同商店街では以前、近くの小学校に七夕飾りの短冊製作を依頼して飾っていたことがあり、活性化のきっかけにしようという願いを込めて七夕飾りを復活させたとしている。



七夕の笹飾り作り

4年振りロビーコンサート

市役所ロビーコンサートが7

月5日(金)に催された。コロナ禍で中断していたが4年振りに復活したもので、会場の市役所2階ロビーには多くの絵手紙の短冊をつるした笹を並べた七夕飾りが華を添えた。

この日は、イタリアのボンポルティ国際古楽コンクールで1位を受賞し、国内外で演奏活動を行っているバロック・チェロ奏者の懸田貴嗣さんがJ.S.バッハの「無伴奏チェロ組曲第一番ト長調」を演奏、訪れた人たちは穏やかで奥深い音色に静かに耳を傾けていた。

ロビーコンサートは様々なジャンルの生演奏を多くの人に楽しんでもらおうと、音楽の街-狛江エコルマ企画委員会が企画、年2回程度開催している。



懸田さん

つなげよう 音楽の架け橋

小田急マルシェ狛江がリニューアルオープン

(株)小田急SCディベロップメントが進めていた狛江駅高架下の商業施設「小田急マルシェ狛江」の第1期エリアの工事が終わり、6月27日(土)にオープン、松原俊雄市長らがテープカットをして祝った。

平成10年の開業以来、初の大規模工事にあたっては狛江市と地域課題の解決や活性化を目的とした包括連携協定を結んで事業を進めてきた。駅と街を一体化し、憩いの空間コマノワテラスを設けるなど、地域密着に配慮したのが特徴。

第1期として地元の地酒販売店・籠屋(KAGOYA)など店舗が出店。また、マルシェ狛江2に啓文堂書店が再出店した。

8月29日(土)には第2期として7店が出店する。



松原俊雄市長(右から2人目)らがテープカット